



住まいから始める地方創生



ストーカー・DV 対策カメラ

年間10万件の
被害相談

※警察庁の発表資料より

1 顔認証機能に
対象人物のデータ登録



2 対象人物をとらえると
すぐに利用者に通知

3 画像は警察に証拠として提出。
犯罪を未然に防止

3' ご家族の誰が帰宅したかも
把握して通知。働くママも安心です！

女性スタッフによる相談窓口 0120-316-393 (平日9時～18時) | 0120-393-564 (平日9時～18時)

こちらでもお問い合わせ受け付けます

詳細はこちら▶



このメンバーで地方創生やりります！



「地方創生をやり切る」をテーマに日本経済新聞で始めたシリーズ広告も
今回で16回目を迎えました。地方創生に対する思いはさらに強まり、今回
紹介させて頂きます役員陣と心を一つに、スマートシティ事業を進めてい
ます。(おっさんばかりで恐縮です!)

新聞広告を読んだ全国の企業様が「一緒にやろう」と声をかけてください
ました。知名度が決して高くない大倉にとって、奇跡のようなことです。公の
場で決意をお伝えしてきたから、「途中で逃げ出すやつじゃない」と評価を
頂けたと思います。

スマートシティ事業とは、その街に住む皆さんと生涯お付き合いをするお
仕事です。日々、お叱りを受けながら街の課題を洗い出し、解決するサービ
スを提供し続けます。「売って終わり」では済まされない。だから私に少しでも
迷いがあると思われれば、お客様とも、パートナー企業様とも、そして何
より大倉の社員とも信頼関係が築けません。この広告を続けたことで、一番
変わったのは社員たちでしょう。日々の会話からも決意を感じます。

一つのアプリで今お使いの家電や住設機器を遠隔操作・管理できる
「HESTAスマートホーム」に、専用ロボットを7月に投入します。これまでスマ
ートフォンやAIスピーカーで操作する仕組みでしたが、「面倒だ」「味気ない」という方が多い。であれば、可愛い「我が家の中の守護神」に話しかけるだけ
で、家の機能を管理できる仕組みを作ろうと考えました。

ロボットは話し相手になり、踊って和ましてもくれます。大倉はロボットに
寄せられた暮らしのデータを参考に、家や街をより快適で安全にする仕組
みを開発して参ります。

ロボットだけでなく、今後は「令和時代の街の電気屋さん」を整備しよう
と思います。その街で信頼されている職人さんに店主になって頂き、ロボッ
トでは対応できないIT機器の修理や取り付けをお願いします。大倉が販
売した住宅じゃないと対応しない、なんてケチなことは言いません(笑)。

私が師事するアパレル大手の創業経営者は、2つの事を叩き込んでくれま
した。一つは「その事業は何のために、誰のためにやるのか考え方」。もう
一つは「売るのではなく、売る仕組みを創れ」ということです。その言葉を
胸に、私が一生をかけて取り組むと決めた地方創生の挑戦が始まります。も
う後戻りはしません。

株式会社大倉 代表取締役 CEO兼COO 清瀬静男

「HESTAロボ」7月誕生！
スマートホーム操る家族の一員

今お使いの家電や住設機器をすべて、一つのアプリでスマート化
できる「HESTAスマートホーム」に専用ロボット「HESTA ROBO」が加わります。

ロボットに話しかけると、家の中の家電を遠
隔で操作してくれます。話し相手にもなってくれ、時にはダンスで家族ををましてくれます。

ダンスも得意！
HESTちゃんの動画はこちら▶

